

## 令和4年度秋田県放課後児童支援員認定資格研修 研修レポート抜粋

(誤字脱字等については校正しているため、原文と異なる場合があります)

### 県央会場

#### 科目 ⑫学校・地域との連携

- ◆ 学校と地域との連携を担う地域人材として、地域コーディネーターや地域学校協働活動推進員がいるということを学びました。社会に開かれた教育課程の実現のために、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に推進していく必要があります、相互に補完し、高め合う存在として、相乗効果を発揮していくことの必要性を学ぶことができました。その中で放課後児童クラブも学校や地域と連携し、子どもの成長を支えることが大切であると理解することができました。
- ◆ 子どもたちを取り巻く社会環境は日々変化し、予測困難となっています。人口減少や少子高齢化、秋田などの地方消滅の可能性、地域社会のつながりの希薄化等の課題が山積みであり、そんな今であるからこそ子どもたちの教育は学校ばかりではなく、社会総掛かりでやっていく必要があるのだということを理解できました。子どもは学校や家庭のみで育つのではないということを念頭において、地域の一員として子どもたちに関わっていきたいと思います。
- ◆ 子どもを預かる以上は責任をもって対応していかなければと改めて思いました。それにはまず、学校との連携はとても大切であり、問題が生じた場合でも素早く対処できる体制にしていかなければと感じました。また、放課後児童クラブの中だけではなく、外にも目を向け、地域の方々の協力や理解を得ながら子どもたちの健全な育成につなげていけたらいいと思います。
- ◆ 少子高齢化や人口減少の加速に伴って、地域コミュニティの維持が困難になっているなど子どもたちを取り巻く環境が複雑化しています。私が勤務する放課後児童クラブは住宅密集地にあり、地域住民とのトラブルが起きないためにも、連携が必要であると思います。放課後の時間に子どもたちが安心安全に過ごせるように職員間で話し合い、臨機応変に対応していきたいと思います。
- ◆ 講義の中でグループになって他の参加者と話し合う機会があり、学校との連携や保育所、幼稚園等との連携について詳しく話を聞くことができよかったです。意見を出し合う中でお互いに共感するところや、連携があまりうまくいっていない点について、どうすればよいか等を議論し、有意義な時間を過ごすことができました。他の放課後児童クラブの職員と関わる機会はあまりないため、貴重な時間となりました。